

USA

The United States of America

Landmarks & Industry

アメリカ合衆国 — 史跡と産業

米国大使館／米国領事館／アメリカンセンター
<http://usinfo.jp>

西部 The West

面積 1,516,161 平方マイル (3,926,839 平方キロメートル)
18 歳未満の青少年 15,783,724
ネイティブ・アメリカン 847,239

人口 63,494,357
外国生まれ 13,061,139
最も人口の多い都市 ロサンゼルス



白頭ワシ 白頭ワシは、米国内ではアラスカ州に最も多く、約5万羽が生息している。白頭ワシは、えさとなるサケの多い米国北西岸に多く繁殖している。



シロクマ 世界中のシロクマの10%以上がアラスカに生息する。



マッキンリー山 海拔 6194 メートルのマッキンリー山 (別称「デナリ」) は、米国そして北米の最高峰である。



石油生産 プルドー・ベイ油田は、米国で発見された最大の油田である。同油田から米国本土 48 州に石油を輸送するため、1977 年にトランス・アラスカ・パイプラインが完成した。



サーフィン ハワイ州 (特にオアフ島北岸) は、3月から10月にかけて、高さ 15 メートルに及ぶ波が発生し、世界中からトップ・サーファーが集まる。



ヤシの木とパルメットヤシ ヤシの木は、カリフォルニア、ハワイ、フロリダの各州で見られる。サウスカロライナ州は、その州木「サバル・パルメット」にちなんで「パルメット・ステート」とも呼ばれる。



ゴールデンゲート・ブリッジ 太平洋からサンフランシスコ湾への入口となるゴールデンゲート海峡にかかる全長 2737メートルのつり橋。米国土木学会により、「近代の七不思議」のひとつに指定されている。



ルート 66 「米国の目抜き通り」や「マザー・ロード」とも呼ばれるルート 66 (国道 66 号線) は、1926 年に完成した米国初の「大陸横断」高速道路である。イリノイ州シカゴ市からミズーリ、カンザス、オクラホマ、テキサス、ニューメキシコ、アリゾナの各州を通して、カリフォルニア州ロサンゼルス市まで、全長は 4000 キロメートル近い。州間高速道路網の発達により、1985 年に閉鎖された。



技術産業 カリフォルニア州サンタクララ郡は、技術産業の中心地「シリコンバレー」の中核となっている。シリコンバレーという名称は、1970 年代にシリコンチップ・メーカーが集まっていたことに由来する。同郡クパチーノ市に本社を置くアップル社は、世界で最も価値の高い公開企業である (2012 年現在)。



映画制作 1914 年までには、ロサンゼルス市のハリウッド地区およびその周辺に数社の映画スタジオが設立されていた。第 1 次世界大戦が終了するころには、「ハリウッド」と言えば、米国映画のスタイルを指すようになっていた。



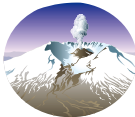
ブドウ園 カリフォルニア州は、世界第 4 位のワイン生産量を誇り、米国のワイン生産の 90% を占める。



リンゴ ワシントン州は全米一のリンゴ生産州で、米国のリンゴ生産量の約 60% を占める。



材木 オレゴン州の総面積 2500 万ヘクタールのうち半分近く (1200 万ヘクタール強) は、森林である。米国は世界最大の林産物生産国・消費国であり、世界の生産・消費の約 4 分の 1 を占めている。



セント・ヘレンズ山 ワシントン州シアトル市から南へわずか 250 キロメートル、オレゴン州ポートランド市からは北へ 175 キロメートルに位置するセント・ヘレンズ山は、標高 2550 メートルの活火山である。1980 年 5 月の大噴火は多大な被害を及ぼした。1982 年に、調査・教育を目的とする総面積 4 万 4500 ヘクタールのセント・ヘレンズ火山国立公園がオープンした。米国地質調査所が、同火山における地震、隆起、ガス噴出などを観測している。



ロッキー山脈 標高 4400 メートルを超えるロッキー山脈は、北米大陸の分水嶺に沿って米国とカナダにまたがっており、登山、野生生物調査、スキーなどのために世界中から旅行者が集まる。



グレイシャー国立公園 1910 年以来、モンタナ州のロッキー山脈北部に、総面積 40 万ヘクタールを超える森林、高山草原、湖、険しい連峰、そして氷河によって刻まれた谷間が保存されている。ここでは、ハイイログマの調査、環境に敏感な魚類の生態調査、山火事の被害査定、そして全米有数の地球気候変動調査が行われている。



ヘラジカの群 ロッキー・マウンテン国立公園には、何千頭ものヘラジカが生息している。ヘラジカは、1800 年代末に絶滅の危機に瀕したが、その後回復した。



ジャガイモ アイダホ州は、スネークリバー平原のかんがい地をはじめ、米国有数の豊かな農地に恵まれている。ジャガイモは、ほとんどアイダホ州の代名詞のようになっており、同州は全米のジャガイモ生産量の約 3 分の 1 を占めている。



アーチーズ国立公園 ユタ州東部にあるアーチーズ国立公園は、総面積 310 平方キロメートルの砂漠地帯から成り、その中に砂岩でできた天然のアーチがいくつもある。同公園は、1929 年に国定記念物として設立され、1971 年に国立公園となった。赤い砂岩が浸食されて、尖塔、窓、アーチなど、さまざまな珍しい形になっている。



バレル・レーシング ワイオミング州では、米国西部の伝統や文化が今も生活の一部となっている。1897 年から毎年開催されているシャイアン・フロンティア・デーズのフェスティバルでは、ブロンコ・ライディング、ブル・ライディング、カーフ・ローピング、バレル・レーシングなどの競技が行われる。



イエローストーン国立公園 米国で最も古く、またおそらく最も有名な国立公園。公園内には、世界で最も多くの間欠泉が集まっている。イエローストーン国立公園は 1872 年 3 月 1 日、連邦議会によって設立され、ワイオミング州北西部、モンタナ州南部、およびアイダホ州東部にまたがっている。



歴史的な鉄道 1862年に連邦議会は、ミシシッピ川流域と太平洋岸を結ぶ鉄道2本の建設を承認した。1本はネブラスカ州オマハ市から西へ向けて1619キロメートル、もう1本はカリフォルニア州サクラメント市から東へ向けて建設された。この2本の鉄道は、1869年5月10日、ユタ州プロモントリー市で結合され、最後に金製の犬釘が打たれて、大陸横断鉄道が完成した。



ラスベガス 米国西部で20世紀に作られた唯一の大都市。この砂漠の中のリゾート都市は、20世紀末まで全米で最も急成長を遂げた都市圏だった。起業家精神、水へのアクセス、発達した交通網、そして緩い州法といった要因により、「ベガス」には、ぜいたくなカジノ、豪華なホテル、華麗なエンターテインメント施設などが集まるようになった。



フーパー・ダム 1930年から1936年にかけて建設されたフーパー・ダムは、米国で最も高いコンクリート製のアーチ式ダムである。洪水や沈泥の制御、発電、農業用かんがい、家庭用給水などに使われているが、主要な観光施設でもあり、年間100万人近い観光客が訪れている。

南西部 The Southwest

面積 564,719 平方マイル (1,462,615 平方キロメートル)
18歳未満の青少年 9,943,176
ネイティブ・アメリカン 982,410

人口 37,348,108
外国生まれ 5,410,217
最も人口の多い都市 ヒューストン



グランド・キャニオン アリゾナ州北西部の高原地帯にコロラド川によって作られたグランド・キャニオンは、その美しい形状と色彩で知られている。峡谷の外壁の間には、多くの壮大な山頂、ビュート、渓谷などがある。峡谷の幅は約160メートルから29キロメートル、全長は446キロメートルである。



インディアン文化 アリゾナ州の約4分の1は、インディアン部族の土地であり、そこにはナバホ国家、ホピ部族、トホノ・オオダム国家、アパッチ部族、ヤキ族のほか、ヤバパイ、ケチャン、フアラパイなどのユーマン部族が集まっている。米国のアメリカ・インディアンの25%以上が南西部（主としてオクラホマ州とアリゾナ州）に住んでいる。



バルーン・フィエスタ アルバカーキ・バルーン・フィエスタは、毎年10月に開催される。たくさんのバルーンが空に上がり、バルーン・レース、花火大会、競技会、各種のショーなどカラフルなイベントが行われる。



インディアンのプエブロ プエブロ文化（アナサジ文化とも呼ばれる）は、アリゾナ、ニューメキシコ、コロラド、ユタの各州の接する地域に存在した有史以前の文化である。その子孫が近代のプエブロ民族（ホピ、ズニ、アコマ、ラグナなどの各部族）であり、その多くは現在も、13世紀末から14世紀初めにかけて建てられたアドービレンが造りの多層住宅に住んでいる。



バイソンの群 バイソンは、大平原地帯を象徴する動物である。「バッファロー」と呼ばれることも多いが、それは誤りである。バイソンは強大な動物であり、北米に生息する動物の中では最も体重が重い。イエローストーン国立公園は、米国で唯一、先史時代から途切れることなくバイソンが生息している地域だとされており、米国の公有地では最も多くのバイソンがいる。



アラモ テキサス州サンアントニオ市にある18世紀のフランシスコ会修道士の伝導所。1836年、メキシコからの独立戦争でテキサス軍兵士が少数でアラモに立てこもり抗戦したことは有名な史実である。アラモは当初、1716年から1718年までの間に創設されたサンアントニオ・デ・バレロ伝導所のチャペルだったが、1700年代末までには廃墟となっていた。抗戦したテキサス軍兵士たちは破れたが、アラモは今もテキサス州では勇敢な行動の象徴となっている。



ロングホーン牛 「旧西部」の生きた象徴であるテキサス・ロングホーン種の牛は、米国で最も古い牛の品種のひとつである。1900年代までにはほぼ絶滅していたが、1927年に連邦政府、テキサス州、ネブラスカ州、およびオクラホマ州が、ロングホーン保護のために野生生物保護区を設立したため、復活した。



カウボーイ 南北戦争後の経済成長により、西部産の牛肉の需要が増えた。西部では、1800年代に牛が自由に放牧され、急速に繁殖していた。1866年～1886年までの間に、テキサス州から米国北部・東部の市場まで、一人で牛の群を誘導していく牛追いの姿は、国民的な英雄として、そしてワイルド・ウエスト（開拓時代の西部）の象徴としての「アメリカン・カウボーイ」の伝説を生んだ。